

もくじ

- ・ ごんぎつね

ごんぎつね

げんさく： にいみ なんきち

イラスト： かわの まほ

へんしゅう： イエローボードプロジェクト

ごんは、ひとりぼっちの こぎつねでした。

りょうしんは ごんが ちいさいときに
なくなり、きょうだいも いません。
しだの いっぱい しげった もりの、
あなのなかで くらしていました。

ごんは、いたずらぎつねでした。

やまから おりて むらにいつては、
はたけに はいって いもを ほりかえしたり、
ひやくしょうの いえの うらてに つるしてある
とんがらしを むしったりと、
いたずらばかりしていました。



ある、あきのひのことです。

に、さんにち ふりつづいた あめがやみ、
ごんは おおよろこびで そとへ とびだし、
やまを おりていきました。

みちばたの すすきのほには、まだ、
あめのしずくが ひかっていた。

おがわのほとりまで くと、
ごんは、かわのなかに はいり、
こしまで みずに つかりながら、
あみをてにしている、
ひょうじゅうを つけました。

ひょうじゅうが あみをもちあげると、
なかには くさのはや きぎれに まじって、
ふとい はらの うなぎや、
おおきな きすが はいっていました。
ひょうじゅうは、とった さかなを
びくにいれ、どてに あがると、
また あみをもって、
かわのなかに はいっていきました。

